

救急の日・救急医療週間

救える命を守るために

9月9日(金)は救急の日、9月4日(日)～10日(土)は救急医療週間です。皆さんもいざという時の対処法を理解し、一人でも多くの命を救えるようにしましょう。



いざという時に備えて

命を救うために 迅速な応急手当てを

突然、目の前で人が倒れた時、あなたは何かができますか。応急手当てが何もなくなされた場合、呼吸停止から10分で生存率は10パーセント以下になってしまいます。

本市では、救急車の到着までに平均約10分、震災や大規模災害の発生時は、さらに時間がかかることが見込まれます。傷病者が命の危機に直面した時、救急車が到着する前に、現場に居合わせた人がどれだけ早く応急手当てを行えるかが、傷病者の今後の人生を大きく左右します。

心肺蘇生法を 身に付けよう

市では、市民の皆さんに心肺蘇生法やAEDの操作方法などを身に付けてもらうため、応急手当てに関する各種講習会を開催しています。

AEDは、病気や事故などで正常に動かなくなった心臓に、電気ショックを与えることで元の正常な動きに戻すための治療機器です。心電図の解析や電気ショックが必要かの判断は機器が自動で行うため、医療従事者以外の人でも操作できます。

今後の講習会の開催日程については、市ホームページや広報なりたでお知らせしていきます。

また、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を踏まえた心肺蘇生法の手順を市ホームページ(https://www.city.narita.chib.jp/anshin/page0156_00022.htm)で公開しています。この機会に手順を確認しましょう。

救急車の適正利用に ご協力を

令和3年の救急車の出動件数は6,573件。このうち救急搬送した5,790人の約4割は入院の必要がない軽症でした。緊急性がない状況で救急車が要請された場合、本当に必要な傷病者の元へ遠くの消防署から救急車が出動することになり、到着が遅れて救えるはずの命を救えなくなる恐れがあります。緊急性がなく、自分で病院に行ける場合には、自家

用車や公共交通機関などを利用してください。

病気やけがの状況から、急いで病院へ連れて行った方が良いと思った時には、迷わず119番通報をしてください。その際は次のことを、慌てず・落ち着いて・はっきりと伝えてください。

- 住所(市区町村名から)
 - 年齢・性別
 - けがや病気、意識の有無
 - 持病・かかりつけ医療機関
 - 通報者の氏名・電話番号
- ※くわしくは警防課(☎20・1592)へ。

救急キャンペーン

市では、市民の皆さんに応急手当ての重要性や救急隊の活動を知ってもらおうと「救急キャンペーン」を開催します。救急クイズラリーや救急ポスターの展示、うなりくんによる啓発ステージを行います。

日時=9月10日(土) 午前10時～正午

会場=イオンモール成田1階和み広場